原子力・放射線部会
2012 年 6 月 29 日

平成 23 年度技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会
報告メモ

日　時：2012 年 4 月 21 日（土）　15：00～18：30
場　所：日本技術士会　会議室
　　<研修会>　葺手第二ビル 5 階
　　<祝賀会>　田中山ビル 9 階
研修会内容：15：00～17：00
CPD 実行委員会　池ノ谷秀行氏の司会で以下が実施された。

（1）歓迎の挨拶「技術士への期待」　日本技術士会　会長　内村好氏
　高度化し複雑化する社会においては、科学に立脚して高い倫理観をもったプロフェッショナルの役割が一層重要となる。プロフェショナルとしての技術士の要件と課題、目指すべき方向と技術士会の役割について論じ、スタートに立った新しい技術士への期待を話された。

（2）「技術士の倫理」　日本技術士会　倫理委員会委員　村田稔尚氏
　技術士の定義、技術士プロフェッション宣言、技術者の国際資格と倫理、技術士倫理綱領について説明があった。

（3）「技術士 CPD の概要」　日本技術士会　CPD 実行委員会委員長　笹口裕昭氏
　技術士 CPD 活動の背景、目的、基本的事項、「技術士 CPD ガイドラン」策定の背景等の説明があり、各人自身の継続的な研鑽と CPD 推進活動への積極的な参加の要請があった。

（4）「日本技術士会の紹介」日本技術士会　専務理事　高木譲一氏
　科学技術基本法に基づく「第 4 期科学技術基本計画」、「研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効果的促進等に関する法律」で技術士の活用促進を促しているとの話に続き、日本技術士会の特徴、歴史、会員の構成、主要事業、組織とその活動内容、社会貢献、APEC エンジニア、EMF 国際エンジニア等について紹介があった。最後に、日本技術士会会員の特典の説明があり、合格者に会員登録を促した。

（5）「部会活動の紹介」　日本技術士会　情報工学部部会長　嶋田弘僧氏
　情報工学部会の活動紹介があった。同部会は 1709 名の技術士登録数に対して会員 625 名と 36.6%の会員率。（全部門　19.0%）（2011 年 3 月時点）
　例会として行っている、講演会、見学会、一次試験/二次試験合格者歓迎会は原子力・放射線部門とほぼ同等であるが、2008 年から新たに開始している情報処理学

会との CPD コラボレーション（講演とワークショップ）、2010 年 8 月より 4 回実施したという地域本部への Web 中継は参考になった。

祝賀会：17：0～18：30

CPD 実行委員会の岡野利之氏の司会で、内村会長挨拶の他、新合格者との懇談・交流を行った。

新合格者は、全部門から約 100 名、原子力・放射線部門から大山健氏 1 名が出席した。（原子力・放射線部会からの出席者；阿部定好、榊勲、岡村章、後藤廣）